

# 水田作への露地野菜導入による複合経営化を支援するツールを作成 – 露地野菜の導入効果をわかりやすく提案します –

## 開発の背景・ニーズ

大規模水田作法人では、収益性の高い品目であるキャベツ、タマネギ及びブロッコリー等の露地野菜の導入による複合経営化が進んでいます。これによる収益性や労働生産性を明らかにし、推進する上では労働平準化や法人所得の向上等の効果をグラフ等で可視化することが効果的です。

そこで、大規模水田作法人の「複合経営モデル」を作成し、それらモデルの詳細資料をグラフ等により可視化、個々の経営に沿った提案ができるツールを作成しました。

## 成果の内容

作成した3つの「複合経営モデル」の特徴は以下のとおりです。

- タマネギ導入型**：労働時間短く、労働生産性が高い、機械化体系利用
- キャベツ導入型**：現在と同程度の臨時雇用で法人所得の増加が可能
- キャベツ、ブロッコリー導入型**：法人所得が最も増加、臨時雇用が多く必要

これらはMicrosoft® Excel®でグラフ等により可視化され、露地野菜の導入効果を法人に提案することができます。さらに、各法人の実態にあわせて常時従事者数や各作目の面積を入力すると、法人所得等や旬別労働時間がグラフに反映され、経営状況に沿った形で示すことができます。

### 複合経営モデル

経営面積 54ha  
常時従業者 4名

モデル		タマネギ導入型	キャベツ導入型	キャベツ、ブロッコリー導入型
作付面積	水稻	33	27	29
	小麦	20	22	22
	大豆	22	22	22
	キャベツ	-	6	1
	タマネギ	2	-	-
	ブロッコリー	-	-	4
計(延べ面積)		76	76	77
法人所得(千円)		32,192	32,548	34,771
( )内は増加率		(6%)	(7%)	(15%)
臨時雇用(時間)		466	244	1,675

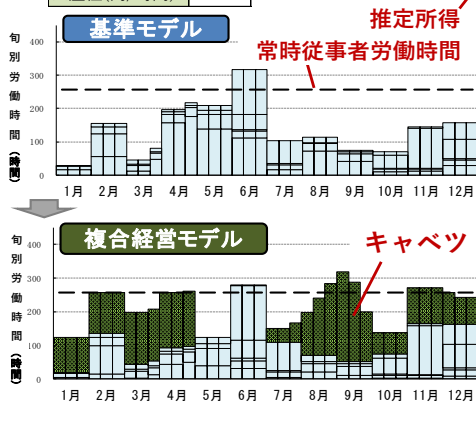
法人へ提案できる形に可視化

### 複合経営化を支援するツール

#### 複合経営モデル提案書(抜粋)

##### キャベツ導入型

常時従事者(人)	4	収入(千円)	94,139
臨時雇用(時間)	244	支出(千円)	61,591
常時従事者労働生産性(円/時間)	4,379	法人所得(千円)	32,548



## 愛知県農業への貢献

複合経営化を支援するツールにより普及指導の場面で大規模水田作法人が露地野菜の導入を検討する際に活用できます。さらに労働生産性や法人所得の向上のための経営改善方策を考える一助となると期待されます。